



平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年6月5日

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3658 URL http://corp.ebookjapan.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 齊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 磯江 英子 (TEL) 03 (3518) 9544  
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	1,065	23.2	102	0.8	103	0.8	63	2.4
26年1月期第1四半期	864	38.4	102	17.9	102	18.0	61	26.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年1月期第1四半期	13.76		13.27					
26年1月期第1四半期	14.89		13.65					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第1四半期	3,043	2,015	65.9
26年1月期	2,978	1,941	65.0

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 2,006百万円 26年1月期 1,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,309	23.8	69	△69.5	69	△69.6	38	△72.3	8.33
通期	5,007	20.5	250	△44.4	250	△41.4	151	△40.3	33.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年1月期1Q	4,798,400株	26年1月期	4,781,400株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年1月期1Q	200,000株	26年1月期	200,000株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年1月期1Q	4,584,861株	26年1月期1Q	4,136,065株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当事業年度における我が国経済は、政府の各種政策や日銀の金融緩和により企業収益の改善や個人消費が堅調に推移し、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動や海外景気の下振れによる国内景気への影響など、依然として不透明感が残っております。

電子書籍を取り巻く環境は、紙と電子書籍の新刊同時発売冊数の増加や雑誌を始めとする様々なジャンルの電子書籍化が進んでおります。また、スマートフォンやタブレット端末の成長を背景に引き続き市場成長が継続しております。

このような事業環境のもと、当事業年度においても品揃えNo.1、使い易さNo.1、サービスNo.1を基本方針に据えて取り組みを行った結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高1,065,291千円(前年同期比23.2%増)、営業利益102,935千円(前年同期比0.8%増)、経常利益103,054千円(前年同期比0.8%増)となり、四半期純利益は63,077千円(前年同期比2.4%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります

#### ①電子書籍配信

当第1四半期累計期間は、コミックを中心に一般書籍や雑誌なども引き続き拡充に努め、累計で20万冊を超える取り扱いとなり、平成26年4月末時点のラインナップは212,760冊(内訳：男性漫画50,860冊、女性漫画46,280冊、総合図書105,420冊、その他10,200冊)となりました。特に少女マンガのラインナップ数の増加を背景に販売冊数が堅調に推移しました。電子書籍販売サイトであるeBookJapanにおいては、サービス向上のために基幹システム、配信システム、販売サイトの改良を企図しており、当第1四半期累計期間はユーザーインターフェースの改良に努めました。また、新規会員の獲得にあたっては、話題作品との連動による広告展開、eBook図書券の拡販等を行いました。以上の結果から、当第1四半期累計期間の売上高は、987,268千円(前年同期比20.5%増)となりました。

#### ②電子書籍提供

主力作品の提供及びパートナーサイトのキャンペーンにより、当第1四半期累計期間の売上高は、57,395千円(前年同期比51.1%増)となりました。

#### ③その他の事業

主としてeBook図書券の販売、航空機内向けサービス等により、当第1四半期累計期間の売上高は、20,628千円(前年同期比173.0%増)となりました

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は、3,043,033千円(前事業年度末比74,105千円増)となりました。総資産の内訳は、流動資産が2,869,913千円(同55,208千円増)、固定資産が173,120千円(同9,502千円増)であります。流動資産増加の主たる要因は、売上増加に伴い現金及び預金が135,120千円増加したことによるものです。固定資産の主たる増加要因は、サーバーおよびパソコン等の購入により工具器具備品が3,811千円、繰延税金資産が4,955千円増加したことによるものです。

#### (負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,027,185千円(同9,394千円減)となりました。その主たる要因は、未払法人税等が65,157千円減少したことによるものであります。

#### (純資産の部)

純資産合計は2,015,847千円(同74,105千円増)となりました。その主たる要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加63,077千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間におきましては、第2四半期累計期間及び通期ともに平成26年3月13日の決算短信で公表いたしました業績予想から変更ありません。なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

株式会社トキオ・ゲッツを当社の連結子会社することに伴い、平成27年1月期第2四半期より従来の非連結開示から連結開示に変更となります。連結子会社に伴う当社業績への影響は軽微ですが、影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,259,682	2,394,764
売掛金	499,536	436,697
仕掛品	303	550
貯蔵品	223	208
繰延税金資産	44,226	26,760
その他	10,733	10,933
流動資産合計	2,814,705	2,869,913
固定資産		
有形固定資産	36,915	37,928
無形固定資産	94,122	93,385
投資その他の資産		
繰延税金資産	271	5,226
その他	32,308	36,579
投資その他の資産合計	32,579	41,806
固定資産合計	163,617	173,120
資産合計	2,978,322	3,043,033
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	700,646	795,993
未払法人税等	94,457	29,300
ポイント引当金	54,017	53,826
賞与引当金	—	8,813
その他	185,025	136,810
流動負債合計	1,034,147	1,024,744
固定負債		
資産除去債務	2,433	2,441
固定負債合計	2,433	2,441
負債合計	1,036,580	1,027,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	518,907	523,157
資本剰余金	529,918	534,168
利益剰余金	971,959	1,035,037
自己株式	△85,602	△85,602
株主資本合計	1,935,183	2,006,761
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	312	—
評価・換算差額等合計	312	—
新株予約権	6,246	9,086
純資産合計	1,941,742	2,015,847
負債純資産合計	2,978,322	3,043,033

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	864,557	1,065,291
売上原価	478,336	592,806
売上総利益	386,220	472,485
販売費及び一般管理費	284,144	369,549
営業利益	102,076	102,935
営業外収益		
受取利息	4	8
不要書籍売却益	136	73
その他	37	36
営業外収益合計	178	118
経常利益	102,255	103,054
税引前四半期純利益	102,255	103,054
法人税、住民税及び事業税	13,916	27,292
法人税等調整額	26,735	12,683
法人税等合計	40,651	39,976
四半期純利益	61,603	63,077

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年6月5日開催の取締役会において、株式会社トキオ・ゲッツを子会社化することについて決議を行い、同日付で募集株式総引受契約書および株式譲渡契約書を締結しました。なお、平成26年6月6日に株式の取得をする予定です。なお、株式会社トキオ・ゲッツは、平成26年5月9日に株式会社TGライツスタジオと合併し、同社が存続会社となっております。

(1) 株式取得の目的

この度、トキオ・ゲッツを連結子会社化することにより、当社が長年培った著作権者、出版社との関係性と、トキオ・ゲッツが有するアニメ制作・プロデュース会社との関係性による相乗効果で、エンターテインメント業界における事業展開力の向上と事業領域の拡大を目指してまいります。また、アジアを中心とした海外拠点を活用することで将来、海外での電子書籍配信事業の基盤を構築し、グローバル展開に取り組んでまいります。

(2) 株式の取得先

- ①株式会社トキオ・ゲッツ
- ②原 浩平
- ③楠本 恵子

(3) 被取得企業の概要

①被取得企業の名称

株式会社トキオ・ゲッツ

②事業内容

キャラクタータイアッププロモーション、情報コンテンツ提供

③規模(平成26年2月期)

株式会社トキオ・ゲッツ(存続会社)		株式会社TGライツスタジオ(消滅会社)	
資本金	10,000千円	資本金	22,570千円
総資産	139,333千円	総資産	47,943千円
純資産	7,087千円	純資産	△4,840千円
売上高	320,700千円	売上高	81,200千円
経常利益	△4,911千円	経常利益	286千円

(4) 株式取得の時期

平成26年6月6日

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

①取得株式数 393,529株

②取得価額

取得の対価 120,026千円

取得に直接要した支出 5,750千円

合計 125,776千円

③取得後の持分比率 60.0%

(6) 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(7) 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(8) 支払資金の調達方法

自己資金